

保健師中央会議；平成25年7月8日

保健師の活動を支える 体制の整備について



潤水都市 さがみはら

神奈川県相模原市
中央保健センター 小野美代子

基本情報

市の動き

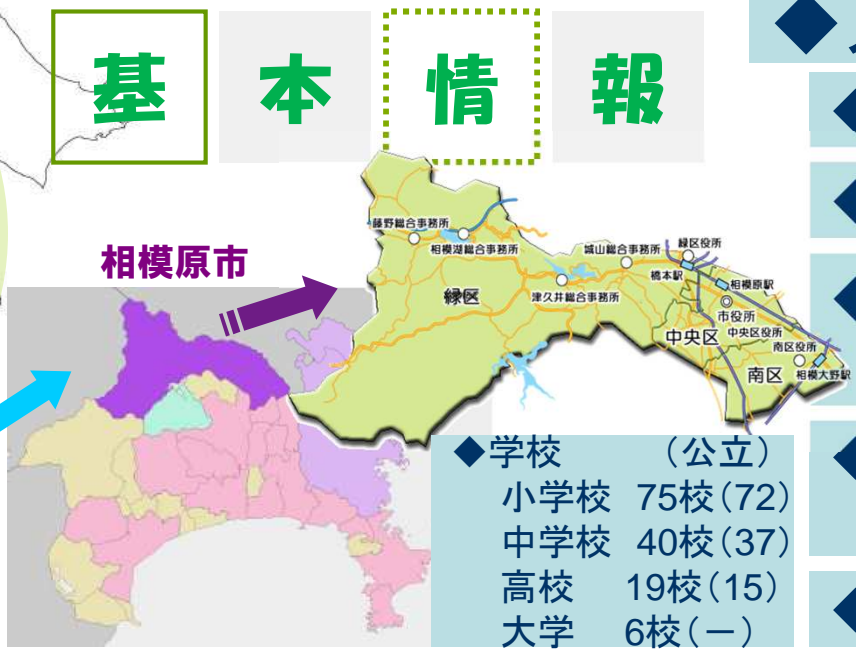
平成12年度：
保健所政令市
(保健師数68名)

平成15年度：
中核市(保健師数72名)

平成17年度：
津久井町・相模湖町との合併
(保健師数84名)

平成18年度：
城山町・藤野町の合併
(保健師数101名)

平成22年度：
政令指定都市移行
(保健師数115名)



◆人口 718,695(人)

◆世帯数 307,300(世帯)

◆面積 328.83(Km²)

◆高齢者人口(率)
143,420(人) 19.9(%)

◆出生数 6,036(人)
出生率 8.4(人口千対)

◆合計特殊出生率 1.21

◆学校 (公立)

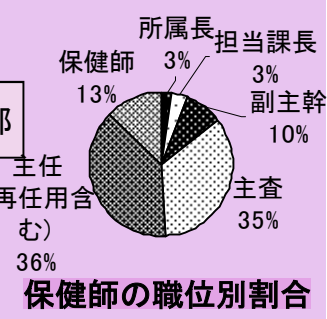
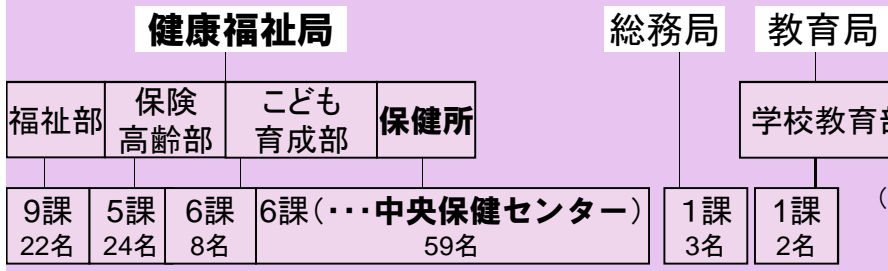
小学校 75校(72)

中学校 40校(37)

高校 19校(15)

大学 6校(-)

H25保健師が配置されている部署 118名 3局5部28課に配置



◆死亡数 4,780(人)
死亡率(人口10万対) 666.2

◆産業別就業割合

第1次産業(農業など)0.6%

第2次産業(製造業など)24.0%

第3次産業(サービス業など)75.4%

資料:平成24年度 ポケットデータさがみはら・保健所年報

報告の内容

平成23年度から統括的役割を担う立場になり、市の保健師活動を見渡した時、分散配置が進み保健師の業務や課題が見えないことに危機感を抱いた。平成24年度厚労省先駆的保健活動交流推進事業の「社会の変化に対応した保健師活動に関する調査事業」に応募し、業務の可視化、部署横断的ミーティングを実施し、現在は「新たな保健師活動指針」に基づき保健活動の見直しを始めている。

試行事業での取り組みの内容

H24.7～25.2



みづの市

参加の決定

日頃から上司に課題を伝えるとともに、ヘルス部門で保健師を総括している部署の保健師と、2年前まで統括的役割を担っていた再任用の保健師に声をかけ、参加を決める

取り組みの範囲の決定

説明会参加後、作業量の多さに比べ、期間が短いことから、取り組みの範囲を母子・生活習慣病・介護予防の3分野に決定

関係課との調整

関係者を集めて会議を開く時間がなく、関係部署へ説明して回り、所属長及び保健師達に作業の説明と調整を行った

チャートの作成

業務を可視化するための「業務内容チャート」や「全容把握シート」作成にあたり、保健師リーダー達を随時フォローした

部署横断的ミーティングの実施

2回実施(参加者数 1回目13人 2回目15人)上司の了解が得られず参加できない部署もあった

今後の実施計画

ミーティングで出された課題を、今後の実施計画としてまとめ、保健師業務連絡会で報告・説明した

部署横断的ミーティング 保健師達の反応及び意識の変化



清水都市 さがみはら

ミーティングへの戸惑い

各課の保健師リーダー達を一同に集める。
「いったい今から何をするの？」 緊張感が漂う・・・!?

まず出たのは「大変」「人が足りない」「事務仕事が多い」

業務量を可視化したシートを見ながら業務を振り返る

「思ったより大変な作業だった」「業務の割合がわかった」
「予想より訪問の時間が多い」「事務仕事が多いとモチベーションが下がる」「委託にしたい事業もある」「保健師の役割を理解してもらえない」「連絡調整に時間がとられている」等

可視化したことの効果や新たな課題に気づく

話し合ううちに「他課の仕事がわかった」「規定業務に追われネットワークづくりなどつなぐ活動ができていない」「保健師の役割を認識してもらうことは大事」等、意見が出てきた

「3分野だけでなく、全ての分野で業務を可視化すべきで、ミーティングにも全分野からの参加が必要」
「このようなことはとても大事」という前向きな意見が出された

<感じたこと、見えたこと、学んだこと>

試行事業の プロセスを 通して



潤水都市 さがみはら

試行事業に参加することで何か答え（統括的役割や保健師の目指す方向など）が得られると期待したが、答えはなく、自分達で体験しながら導き出していることに気付いた

部署横断的ミーティングでは、参加した保健師リーダー達は、コミュニケーションを図り、互いに理解しあえる機会にもなり、保健師活動のベクトルを合わせることに効果的だった

このプロセスの中で統括的役割として特に必要だったのは

- マネジメント能力:保健師が配置されている部署の所属長の理解の促進や保健師リーダー達が取り組みやすくなるための調整など
- 保健師リーダー達の意見をしっかり聞く力と柔軟に受け止める力
- 方向性を見極め:状況によっては、方向性やゴール設定を変更する必要もある
- ぶれない意志の強さとしなやかさ:組織の中で様々な意見や壁にぶつかった時に、保健師として守るもの
- 一緒に取り組む仲間をつくること:統括的役割は保健師の協力体制があって初めて発揮できる(保健師以外の職の協力はなお良い)

何よりも 日頃の活動が大事！！

今後の実施計画（活動指針を踏まえ）



澁水都市 さがみはら

課題の共有と
保健師活動の
方向性

部署横断的ミーティング（保健師業務連絡会議）の実施
テーマ別ワーキンググループの開催（南区の地区把握・保健師活動紹介）
「地域における保健師の保健活動について」指針の学習会
各部署の保健師の役割の明確化と連携

類似事業の効果的な
事業展開

健康増進事業と介護予防事業など関係部署で共通認識を図り、
効果的な実施方法を検討・体系化

アウトソーシング

既にアウトソーシングしている事業の評価
今後アウトソーシングできる事業の検討

地域づくり

「健康な地域づくり事業」は、保健センター以外の部署（高齢者・
難病・感染症・精神等）も加わり、一緒に取り組む
地域の健康課題を明らかにするとともに、地区担当について考える

計画的な保健師
リーダーの育成

ジョブローテーションの実施
中堅期・管理期の人材育成指針を示したガイドラインの作成
階層別研修の見直し

統括保健師

統括保健師の役割及び位置付けの明確化
保健師に係る課題の調整と判断・見極めと必要な働きかけ（行動）

青字はすでに手がけているもの

統括的役割を担う保健師について



潤水都市 さがみはら

保健師全体にかかる課題を組織横断的に、調整・連携し
支援する(解決方法を共に考える)

部署ごとにある課題を集約し、健康課題を明らかにし
発信と共有を図る

人材育成
(育成ガイドライン、研修など)

統括的役割について、保健師だけでなく
関係部署の理解を得る

統括的役割を担う保健師の配置の必要性和
配置部署の位置づけ